

月刊川湯新聞

昭和54年
11月号
(第2号)

発行所
月刊川湯九州支局
〒814
福岡市西区西脇
有吉コーポ102
TEL. 092(863)8578

今月の紙面

川湯に東京	2	インタ古屋のお知らせ	10
川湯に阿波	3	北から南から	11
真ん中の話	4	そのおぎんりの読み物	11
今月なんと16ページなのだ			

ささる! 催向東京川湯

川湯っ子健在なリ!!

に東台
そこから

新宿を完全制覇? 約十分の

中央公園

去る十月十四日(日)花の東京は新宿の中央公園でオ三回

川湯エン東京が大々的に開かれた。当日は、遠く北海道はビ

ールの町「札幌」からまたドブラの国「青森」「岩手」から、そして

焼酎の王国九州は福岡「から純々と酒肴みや「川湯っ子」

が集い、六十七人の参加者を得て大盛況であった。

当日は、快適な川湯日和で、参加者は、新宿の三角ビル前

まで縛り歩き、前景風を歩いた。

公園では、計画が不十分であった。しかも、かめりらず、巨に、なごり

合れんばかりの盛況であった。

前夜祭の恐怖!

前夜祭として、十三日(土)夜

西小山の「ウッドストック」で、パーティーが開かれ、参加者はへべ

れけになつて旧交をまためた。(二面に南連記事)

お二回川湯に阿波も南催

十月二十七日(土)に東京に負けずは

なるものか、というわけで、九州から土方

オコンの帰省を機会に「川湯に阿波」が

開かれた。参加者は、あの「ときよん」と

「ヌース」「土方さん」と三人ではあったが、

それなりに大盛況であった。

(三面に南連記事)

流転

「北山の峠より
(金及昌業者
日本人が峠
出を命めた日

本的美しい自然
を西歐的な対立の
眼で見るとな

たのはいいから
であらうかー中略

ーかくて人面は都市
という自分達の城廓

を築き上げ、生活の
本拠はそのにあり、自

然は別のもの、た、こら
見方、う、出ま、な、な

てしました。流転と登音

と、い、言葉がある。前

者は自然に逆らわない

行雨云流水の思想であ

り果てた、い、い、終
る、こ、ろ、が、な、い、道、の、思
想、である。――」

真ん中もおります



Wood Stock Inn

PM5:00 ~ AM2:00
TEL 03-793-6952



イラスト 写すの 未野した 真ん中

MUSIC HOUSE
(八代巨紀のすまはは
おとほりハ どうぞ)



マスターのデロモ